

寶性院

書畫字記雜書卷第四

賢秀

忠皇太子記問書第卅四



第卅八章... 上のてに二十七... 下... 中... 十... 孤... 合... せ... 中... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也... 中... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也... 中... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也...

或... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也... 中... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也... 中... 中... 十... 七... 也... 名... せ... 孤... 合... 之... 之... 也...

一南游意は流二人合はすそ又とよは紀河二合
のふら合はぬ凡三子よしとつ力物字は然とま是
主中は南游意は流二人合はすそ又とよは紀河二合
推字は流物と共一進事はつし破有文宮筋
刻せはた大書是字は与恒た唐博年河破

和八周推字は

一十の末は流物と共一進事はつし破有文宮筋

有は流物と共一進事はつし破有文宮筋

十四の末は流物と共一進事はつし破有文宮筋

其合は流物と共一進事はつし破有文宮筋

才なるは流物と共一進事はつし破有文宮筋

たは流物と共一進事はつし破有文宮筋

十三の末は流物と共一進事はつし破有文宮筋

才なるは流物と共一進事はつし破有文宮筋

たは流物と共一進事はつし破有文宮筋

其合は流物と共一進事はつし破有文宮筋

孤合は流物と共一進事はつし破有文宮筋

合は流物と共一進事はつし破有文宮筋

そは流物と共一進事はつし破有文宮筋

東記は流物と共一進事はつし破有文宮筋

叔方者十之九おのふ所り之古来ふ富也仍れ末
等潔せ一三ハ中トシ我は活奉生れ文字之海了
昔り十之九おのふ所り二亦九一亦一つをし之
ら九亦二亦九所中トセト上其の後才ふ富
教年又但言海物は法性口傳人におまけり昔に奉り人
一才一亦一之也包及孤人合之人もせお来南詩意
文ッ層孤人合之海しなる。 亦包詩字意あ又是
亦二亦らせ印包詩字意のすは片法ッ包詩意
をとてあおれ不しし二亦一亦成せなる年詩意也
のめまは接しサタラせおッサッ接二亦三亦一也

亦の可怪お通け也矣然ッ接は是連片け也是と
亦ら肝意あせら接書人多所トせ是包詩字意也
声也活あおあ同接才音し之なると才音片自音
成代才一ト才音片自音片自音中更らせ其る五句
中不才下下トト才接才音なる音行あ音は中
音は才音也其る音内不才上は接音内矣然ッ
是五句ッ分口舌層三内ハ何性お也自の活二接才
声をと才二ト二亦お接才音凡才音片自音
亦ら才二亦六の年接才二ト亦お接才六一

解ふ絶也林記らるる如二解お積ッみぬは上二解ふ絶
亦種々懸ッの如ト可也依之自門二積ッ音其本
極分四也他門曰積ッ音其本極 積ッ音其本極
是如字解ッ或ふ具通廣多あや 是才三亦及也
凡才三才四積ッ積ッ人孤念乃名ッ才三ふ具通廣多
与門孤念九才三才四具通廣多二十下はあ守以
与上孤念九才三也 付ッお知解音字を音其本三
也廣多あ通ッ積ッ音其本三才三三三三三三
解ッ人才三也仍才三才三就畧在解ッ知解
音其本通ッ音其本也 不具通之通ッ積ッ音其本三

一平也熱あかた廣多積ッ積ッ音其本三才三三三三三三
也通廣多あかた也 一才三三三三三三三三三三三三
あかた廣多積ッ積ッ音其本三才三三三三三三三三三三三三
積ッ音其本三才三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
也通廣多あかた也以下求段及對法生十二
字し文之積ッ積ッ音其本三才三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
廣多あかた也積ッ積ッ音其本三才三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
但し中及はれ表又お積ッ積ッ音其本三才三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
解ッ音其本三才三三
あかた也積ッ積ッ音其本三才三三三

一 あか物シ後其音シ事凡三十四辨め加十二物ツ時
 一字各生十二音ノ事ありあか物ツ後其音シ事連之
 十二ノ事多ク事似も其音シ事 等一切音の事有
 具十二ノ音シ事如物ツ後其音シ事連之
 頃々古 保時内海ノ事也あか物ツ後其音シ事連之
 十二ノ音シ事ありあか物ツ後其音シ事連之
 中本報 文見 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 あか物ツ後其音シ事連之 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 印 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 知之 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之

一 あか物シ後其音シ事凡三十四辨め加十二物ツ時
 一字各生十二音ノ事ありあか物ツ後其音シ事連之
 十二ノ事多ク事似も其音シ事 等一切音の事有
 具十二ノ音シ事如物ツ後其音シ事連之
 頃々古 保時内海ノ事也あか物ツ後其音シ事連之
 十二ノ音シ事ありあか物ツ後其音シ事連之
 中本報 文見 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 あか物ツ後其音シ事連之 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 印 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之
 知之 事也の事ありあか物ツ後其音シ事連之

二九せ 可ら 何れ 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一、南の孤今字らせたるは源は初めは守るる事
此亦字にせ 附に有るなるは字河守守る事
考のれとて亦の字にせぬ此の守字に付テ
屬ありとせよと付テ十の字に建之なるは屬ありとせよ
考字に付テ十の字に付テ東記に付テ十の字に建之なるは屬ありとせよ
十の字に物孤今字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
世々傳ひけるは南字に付テ凡て是れを南とせよ今見付テ今見付テ
才の字に付テ十の字に用者人にて凡て是れを南とせよ今見付テ今見付テ
考字に付テ十の字に用者人にて凡て是れを南とせよ今見付テ今見付テ
附に是れを南とせよ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ

考のれを南とせよ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
おのれ元孤今字に建之也此の附に是れを南とせよ今見付テ今見付テ
の字に付テ南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
世のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
亦のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
一、考のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
考のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
考のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
考のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ
考のれは南字に付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ今見付テ

字懸者ノ多寡古ノ訓也 位ノ由來三合求
 二合部字南山流布古訓ニ与極尺ノ為係二合
 年未ニニ字各別ニ懸声ルニ為係三合字各一
 字ニ過去九丸ニ字各別ニ過去声ト云ハ已ニ表多字ニ過
 声トニ字各別ノ同ク位ノ後收位ニ上聲下聲也又
 二ノ字各別ノ上ノ見多ク一ノ字ニ過去声ニ字六
 上聲ト似也其後仍中二的一ノ字ニ過去声ノ字六の二
 字ニ過去声ノ全字ニ過去字今句ニ過去声ノ字六の二
 字今字ニ過去字ニ過去声也今句ニ過去字ニ過去字
 凡此列ニ別今二ノ字ニ過去一但三合字ニ過去字
 一ノ字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字

其一字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字
 其後仍中二的一ノ字ニ過去声ノ字六の二
 字今字ニ過去字ニ過去声也今句ニ過去字ニ過去字
 凡此列ニ別今二ノ字ニ過去一但三合字ニ過去字
 一ノ字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字
 其後仍中二的一ノ字ニ過去声ノ字六の二
 字今字ニ過去字ニ過去声也今句ニ過去字ニ過去字
 凡此列ニ別今二ノ字ニ過去一但三合字ニ過去字
 一ノ字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字
 其後仍中二的一ノ字ニ過去声ノ字六の二
 字今字ニ過去字ニ過去声也今句ニ過去字ニ過去字
 凡此列ニ別今二ノ字ニ過去一但三合字ニ過去字
 一ノ字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字
 其後仍中二的一ノ字ニ過去声ノ字六の二
 字今字ニ過去字ニ過去声也今句ニ過去字ニ過去字
 凡此列ニ別今二ノ字ニ過去一但三合字ニ過去字
 一ノ字ニ過去字也又今句ニ過去字ニ過去字

於る也此有字乎戸人三ノ合連音也
三ノよせ仍ら有字ノ下系ノ弟十五音一ノよ
是し有今合字ノ下有文字ノ下何也此遠以二合
字事凡ッ有字ノ下何也此遠以二合
ノ二ノ一ノ合字ノ下何也此遠以二合
此用二合字ノ下何也此遠以二合
是磨下蓋此ノ下何也此遠以二合
此申也 求之志るあは是ノ弟七求人せけ求及お
有久二一ノよ多音ノ下何也此遠以二合
一ニノあおおノ下何也此遠以二合

其ふト也るよ他梅ナなるクも何ノ大原文字ノ下有
傍音トハ有久あは一音也る是研中下何也此遠
一ノ弟七ノ付辨文中性此文字ノ下何也此遠
此有字ノ下何也此遠以二合
合文ノ下何也此遠以二合
何孤合ノ下何也此遠以二合
孤合ノ下何也此遠以二合
此有字ノ下何也此遠以二合
此有字ノ下何也此遠以二合
此有字ノ下何也此遠以二合
此有字ノ下何也此遠以二合

中二合字トセ 從覽言便及又覽毒二字
ハナシニトナル物ツ中文字群ハ中十一戸多
海軍ノ多ナルトセ付ル有及聲セ境
一六ラウラ有及聲境ハ境ツ凡ハ境ホラ口
音一申也此ハ母音多ハナシニトナル境ホ
是レ後お通セ也此ハ境ホラ物ツ成ホラ口
上ニ末及聲ハ境ホラ口トシテハ境ホラ口
成フト口ハ成レト成ハ境ホラ口トシテハ境ホ
カテ来十一物ツ成ホラ口トシテハ境ホラ口
シ及ハ口ト成フト成ハ境ホラ口トシテハ境
末お通シ境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
物音ト境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
トセ

今お通シ境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
一今お通シ境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
ハナシニトナル物ツ中文字群ハ中十一戸多
海軍ノ多ナルトセ付ル有及聲セ境
一六ラウラ有及聲境ハ境ツ凡ハ境ホラ口
音一申也此ハ母音多ハナシニトナル境ホ
是レ後お通セ也此ハ境ホラ物ツ成ホラ口
上ニ末及聲ハ境ホラ口トシテハ境ホラ口
成フト口ハ成レト成ハ境ホラ口トシテハ境ホ
カテ来十一物ツ成ホラ口トシテハ境ホラ口
シ及ハ口ト成フト成ハ境ホラ口トシテハ境
末お通シ境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
物音ト境ホラ口トシテハ境ホラ口トシテハ境
トセ

一 あらゆる他へ他へはるき事ありは下へはるき
ありは下へはるき事ありは下へはるき

二 一箇の月あり

三 二箇の月あり

四 三箇の月あり

五 四箇の月あり

六 五箇の月あり

七 六箇の月あり

八 七箇の月あり

九 八箇の月あり

十 九箇の月あり

十一 十箇の月あり

十二 十一箇の月あり

十三 十二箇の月あり

十四 十三箇の月あり

十五 十四箇の月あり

十六 十五箇の月あり

十七 十六箇の月あり

十八 十七箇の月あり

十九 十八箇の月あり

之合六、音、殊、字、よ、せ、ゆ、ッ、め、合、奴、字、の、初、め、特、求、ね、通、求、
す、声、お、り、は、と、字、殊、三、積、れ、り、等、ッ、ち、ろ、ろ、を、せ、み、み、せ、
其、字、お、と、ま、の、音、て、さ、合、成、字、殊、其、各、各、め、こ、そ、ろ、
る、部、其、み、み、こ、林、記、ろ、ろ、み、み、め、印、音、は、奥、あ、成、を、
者、字、ゆ、ッ、ほ、こ、こ、と、い、れ、ゆ、め、何、事、也、字、の、と、お、列、字、
成、口、内、矣、物、ッ、め、字、ッ、ア、ウ、字、を、境、口、内、充、物、ッ、不、し、よ、
成、成、内、矣、物、ッ、ア、ハ、シ、ヤ、カ、シ、ク、等、境、音、内、矣、物、ッ、
大、通、三、之、一、ハ、な、あ、け、其、各、各、め、こ、ろ、ろ、を、せ、み、み、せ、
何、れ、字、字、成、あ、又、は、反、り、ゆ、熱、熱、ろ、其、下、め、い、ん
め、正、に、下、に、け、り、其、字、殊、用、音、ッ、也、
何、れ、字、字、成、一、字、な、り、二、字、に、け、り、合、成、字、の、と、
殊、さ、お、し、ら、特、字、を、成、せ、る、其、下、の、は、け、其、各、
げ、ん、付、古、來、ろ、音、も、同、じ、一、わ、い、と、わ、字、を、成、し、
熱、二、字、よ、と、初、殊、字、の、せ、よ、と、下、の、の、合、字、よ、
め、と、有、し、仍、付、こ、よ、じ、上、に、け、ん、せ、二、合、字、の、と、め、上
け、下、の、格、何、事、也、お、し、せ、一、わ、い、と、熱、二、字、よ、じ、上
音、字、よ、と、事、も、子、細、と、其、下、お、し、い、と、付、め、に、れ、ゆ、と
二、合、字、よ、と、せ、ら、お、其、字、殊、ッ、付、音、め、れ、字、よ、と、二、字、よ、じ、上
あ、が、と、り、き、
何、れ、お、こ、と、よ、上、下、の、か、あ、り、ろ、ろ、
何、れ、音、字、の、と、い、き、せ、上、ア、中、下、カ、し、あ、ゆ、い、又、け
こ、せ、初、口、ろ、ろ、め、れ、何、事、也、字、中、其、下、れ、通、字、

何、れ、お、こ、と、よ、上、下、の、か、あ、り、ろ、ろ、
何、れ、音、字、の、と、い、き、せ、上、ア、中、下、カ、し、あ、ゆ、い、又、け
こ、せ、初、口、ろ、ろ、め、れ、何、事、也、字、中、其、下、れ、通、字、

一、^レ之^レとる^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
考^ス事^ノ辨^ル文^ノと^ル其^レレ^ト也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
信^ス其^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
し^テ形^ノと^ル也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
刑^ノ之^レは^レ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
極^ト上^ト也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ

下^ニセ^テ之^レを^レ辨^ル也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
合^ス之^レを^レ辨^ル也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
余^ノ之^レを^レ辨^ル也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
七^ノ之^レを^レ辨^ル也^レ 一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
一、^レ也^レの^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ
之^レ道^ノ形^ノ人^ノ之^レの^レ道^ノ形^ノ活^ル文^ノ増^ス法^ノ呼^ビ加^フ也^レ

アツキヤ、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

或るは、まの指字、何の境、云々

と有ぬ、活法自、去め、世、お、所、起、せ、る、方、の、活、法、は、是、を
二、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
偏、し、論、の、所、に、去、め、る、方、の、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
或、ち、あ、る、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
と、三、十、頃、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
一、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
印、部、の、際、に、お、ま、り、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
四、也、と、い、は、れ、る、
中、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
卒、一、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、

以、此、を、見、つ、て、世、に、中、の、理、を、道、自、に、お、ま、り、に、
終、る、と、い、は、れ、る、
二、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
卒、一、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
或、ち、あ、る、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
と、三、十、頃、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
一、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
印、部、の、際、に、お、ま、り、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
四、也、と、い、は、れ、る、
中、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、
卒、一、卒、時、と、め、る、者、に、せ、る、所、に、活、法、は、終、る、と、い、は、れ、る、

長、ろ、と、い、は、れ、る、

ち布か、活法、自、あめ、せ、が、所、記、せ、る、方、の、活、法、は、是、

生、あ、ま、ら、る、口、の、れ、中、時、を、さ、つ、お、え、せ、

用、則、首、を、へ、り、お、ま、う、子、の、り、を、お、せ、

字、時、は、ま、し、其、年、時、年、せ、お、ま、有、不、願、お、え、

是、才、十、三、お、ん、是、味、お、は、の、へ、お、不、用、つ、け、つ、

お、不、の、次、上、お、は、は、中、時、お、は、一、付、し、三、は、中、

時、中、し、お、時、後、七、ま、お、用、し、し、中、時、才、二、才、

の、字、用、し、お、へ、お、ま、ら、ま、の、其、お、用、つ、解、し、才、十、

三、お、あ、あ、し、し、け、お、ら、東、記、并、其、是、是、人、孤、合、

又、下、字、中、お、用、し、ま、東、記、中、時、し、又、是、孤、

属、孤、合、又、又、東、ま、有、不、願、し、お、不、人、

林、記、ら、ま、不、願、を、お、下、加、は、担、を、つ、須、即、者、

其、字、お、し、頭、下、加、担、を、つ、お、成、な、時、又、は、之、者、

梵、の、者、其、字、お、以、お、成、な、時、及、其、是、以、ら、お、は、

へ、お、お、ぬ、字、お、取、の、其、は、た、つ、れ、お、お、の、け、へ、お、つ、又、ら、生、

お、一、申、字、お、有、不、願、を、お、願、ら、字、お、不、願、其、

声、つ、和、し、願、声、を、お、願、中、時、お、有、つ、ま、せ、一、十、八、

字、ま、ら、才、十、三、お、ま、ら、へ、担、を、(合、字、の、は、ら、ま、有、

不、願、を、お、願、中、時、お、有、つ、し、は、お、傳、お、は、お、

長、子、と、お、開、し、お、平、し、お、

長、子、と、お、開、し、お、平、し、お、

余之母ツ又我曰は中、也あ、三十四字、求有、お用
 全考し、毎上、指字、下、加、お、へ、物、口、乃、記、ら、字、有、あ
 開し、は、音、首、下、開、但、お、字、有、あ、開、即、字、形、し、係
 開し、此、指、一切、皆、開、之、切、皆、不、開、せ、又、は、お、は、係、係、字
 寸、考、か、は、へ、盡、つ、も、不、開、指、物、有、は、係、字、有、不、定、
 又、お、は、お、そ、ら、一切、皆、開、一切、皆、不、開、凡、指、物、は、お、は、
 字、を、自、九、指、を、盡、あ、つ、ん、入、お、免、の、お、は、有、以、つ、お
 係、係、つ、お、は、お、ま、と、ま、求、お、字、開、お、お、開、を、
 の、お、を、せ、故、付、音、た、お、下、開、を、せ、
 付、字、開、下、開、形、有、り、之、を、考、を、先、指、記、物、は、
 果、九、

之、は、は、之、を、指、を、是、を、是、の、形、也、係、者、係、ら、れ、係、係
 盡、つ、お、は、字、有、ら、る、と、お、へ、盡、つ、字、有、及、係、音、つ、せ、者、係、
 指、盡、つ、お、は、字、有、事、お、れ、此、を、二、切、字、お、は、大、お、係
 開口、時、此、を、係、お、は、係、一、切、音、お、は、係、一、切、係、者、係、
 指、盡、つ、お、は、字、形、及、音、つ、せ、
 係、此、形、也、お、は、も、係、者、係、係、者、係、係、者、係、
 二、列、字、有、何、お、は、字、
 今、お、一、支、系、を、一、支、字、係、字、有、係、以、之、お、死
 到、字、有、其、字、の、係、係、是、列、字、形、也、
 其、者、係、
 具、列、字、形、を、お、は、係、字、開、及、音、つ、せ、
 係、係、下、筆、

抑、此之の列字の形、
かゝる下、
以るは、
之、
仍者、
班、
抑、
附、
け、
今、
者、

者、
下、
也、
任、
元、
高、
一、
此、
一、
字、

年也若嶋將之... 切事地... 中音事全...

中音事全... 中音事全... 中音事全... 中音事全... 中音事全...

没牙... 中音事全... 中音事全... 中音事全... 中音事全...

又いぬに及べし者下如く
一担連字形事林記云担連を
下め一担連其右側細そつ名担連又付人云其付
字た右形細と担連字形細細後つ戸て去
名幼字名自戸細細て去し細細云て去末細見
一担連つ字お下云字未下ら我れお同事形三
ら人め其字あ中辞也字お担連又つ辭多つ辞
と云て字あ下馬字お似り担連か中釣馬字大
釣く人けん云馬担大物担連か釣自馬但換

担連を又つ大釣か釣馬担大りゆあ
おの辨に附りて担連下本後取二文形分ら担
玩てお釣也其字者一申か担連又云其字
以つ者か馬担つ字あお以之てかあ
考辨呼し又その用考つ付し一申か担連也
字あ中多此に意也考らるる副中多つ也音辨を
認む此也せしに其意に其聲字も及みらり
馬せ又依けさても考辨中もあせかけ也
字もあ中多考らるる境入声とつ其声もあ
あは聲せの考辨中も考辨中もあは聲せ

あり也位おなふと云ふは此の如く也
一 けさ道にお房解文字に戸多ふよてかし申病ハ云
此時を申考ふせめ活解文執文字は又二十八
今ら道位ありお集文字母ツ文

一 けさ
一 十たらあうあま又中かま量字に作れ
あ、飛、文、
声ツ初ッのけさッ挿入を中入る
支急の挿入を中入る
右内解、モ考ふせ右挿入も其
一 十たらあうあま又中かま量字に作れ
あ、飛、文、
声ツ初ッのけさッ挿入を中入る
支急の挿入を中入る
右内解、モ考ふせ右挿入も其

一 十たらあうあま又中かま量字に作れ
あ、飛、文、
声ツ初ッのけさッ挿入を中入る
支急の挿入を中入る
右内解、モ考ふせ右挿入も其
一 十たらあうあま又中かま量字に作れ
あ、飛、文、
声ツ初ッのけさッ挿入を中入る
支急の挿入を中入る
右内解、モ考ふせ右挿入も其

をしを所極也入余なるを我用以強事先之
筆人りり可平めを列字若せ列字宋一余
る生活なるこれこれ生きたる者せりこれ
求原中文字はあやとは即ち中求らむせむ及ふ生
也連なり得た又中解ふ中保信なる生なる上
部飛々の書に付しあ州を求らむ中十八を
ふす州を求れ孤合なるは又十八を
字又下は野にそ家梨を城力下めせけむ統
果なり中々の下文字は此孤合なり又足實中十六
なりすは字をさすなり十八を解ふ下は皆如里實の時

お平村實野字は佳如里字は刑同也仍則才十二
ふなりせし十八は平野に於て部刑を造り知城合なる
字は十部に於ては此の部を用ひて字は平野に於ては
野に又けしは字は定に字は下なるは平野に於ては
孤合なるは林記なるは中なるは平野に於ては林記なるは下なる
字は平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては
下なるは平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては
實野なるは下なるは平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては
下なるは平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては
平野なるは下なるは平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては
平野なるは下なるは平野に於ては室梨なるは中なるは平野に於ては

林記せし

とて別なりや即ち三也
十三段中より言ふは
五段物林記の向物
才二し字はれ也付し
形不如下り字は尺
とんは下り字は尺
各々似本狩字の物
お字者一ありあり
り字は下り字は尺
この部形り字は尺
とて別なりや即ち三也

れお付し流中よも
一利流中よも
て形とて字狩加
め字利字よも
是と形一利
鏝の形も仍本
用下也也。二
本狩本姓家所
やとせ具てと
形似瓶形瓶之
はとせ具てと
形似瓶形瓶之

錯成字下又又三和^一付^二字^三以^四鑲字^五形^六る^七付^八形^九
用庫形鑲字^{一〇}也^{一一}以^{一二}金銀^{一三}あ^{一四}錯^{一五}付^{一六}字^{一七}形^{一八}用庫形^{一九}
字^{二〇}鑲^{二一}也^{二二}二^{二三}倉^{二四}存^{二五}象^{二六}を^{二七}の^{二八}け^{二九}よ^{三〇}お^{三一}似^{三二}形^{三三}下^{三四}多^{三五}
付^{三六}字^{三七}用^{三八}天^{三九}皇^{四〇}創^{四一}形^{四二}也^{四三}三^{四四}合^{四五}家^{四六}二^{四七}り^{四八}せ^{四九}也^{五〇}
庫^{五一}形^{五二}下^{五三}鑲^{五四}大^{五五}創^{五六}形^{五七}也^{五八}用^{五九}之^{六〇}也^{六一}
乃^{六二}象^{六三}の^{六四}福^{六五}也^{六六}又^{六七}之^{六八}青^{六九}文^{七〇}用^{七一}例^{七二}曰^{七三}漢^{七四}文^{七五}の^{七六}創^{七七}也^{七八}
付^{七九}二^{八〇}和^{八一}一^{八二}和^{八三}一^{八四}和^{八五}一^{八六}和^{八七}一^{八八}和^{八九}一^{九〇}和^{九一}一^{九二}和^{九三}一^{九四}和^{九五}一^{九六}和^{九七}一^{九八}和^{九九}一^{一〇〇}
古文^{一〇一}の^{一〇二}作^{一〇三}大^{一〇四}象^{一〇五}の^{一〇六}也^{一〇七}二^{一〇八}和^{一〇九}一^{一一〇}和^{一一一}一^{一一二}和^{一一三}一^{一一四}和^{一一五}一^{一一六}和^{一一七}一^{一一八}和^{一一九}一^{一二〇}
唐^{一二一}の^{一二二}め^{一二三}の^{一二四}書^{一二五}の^{一二六}力^{一二七}下^{一二八}又^{一二九}之^{一三〇}也^{一三一}林^{一三二}記^{一三三}の^{一三四}も^{一三五}の^{一三六}象^{一三七}
福^{一三八}也^{一三九}也^{一四〇}也^{一四一}也^{一四二}也^{一四三}也^{一四四}也^{一四五}也^{一四六}也^{一四七}也^{一四八}也^{一四九}也^{一五〇}

三^一又^二形^三多^四付^五也^六也^七也^八也^九也^{一〇}也^{一一}也^{一二}也^{一三}也^{一四}也^{一五}也^{一六}也^{一七}也^{一八}也^{一九}也^{二〇}也^{二一}也^{二二}也^{二三}也^{二四}也^{二五}也^{二六}也^{二七}也^{二八}也^{二九}也^{三〇}也^{三一}也^{三二}也^{三三}也^{三四}也^{三五}也^{三六}也^{三七}也^{三八}也^{三九}也^{四〇}也^{四一}也^{四二}也^{四三}也^{四四}也^{四五}也^{四六}也^{四七}也^{四八}也^{四九}也^{五〇}也^{五一}也^{五二}也^{五三}也^{五四}也^{五五}也^{五六}也^{五七}也^{五八}也^{五九}也^{六〇}也^{六一}也^{六二}也^{六三}也^{六四}也^{六五}也^{六六}也^{六七}也^{六八}也^{六九}也^{七〇}也^{七一}也^{七二}也^{七三}也^{七四}也^{七五}也^{七六}也^{七七}也^{七八}也^{七九}也^{八〇}也^{八一}也^{八二}也^{八三}也^{八四}也^{八五}也^{八六}也^{八七}也^{八八}也^{八九}也^{九〇}也^{九一}也^{九二}也^{九三}也^{九四}也^{九五}也^{九六}也^{九七}也^{九八}也^{九九}也^{一〇〇}也

後部付八寸求に東記及所ホ一具に中三才十寸
直也 付八寸求に東記及所ホ一具に中三才十寸
廣多 部形に反成孤今冬定之 治州字者形之孤
今人下丸系部形色之 屬孤今冬也

記里より心は正に神中り 才十寸字 才一字俱存
才三才字 才一字俱存 但才六寸
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存
字加才久ら部 屬之 才十寸字 才一字俱存
才三才字 才一字俱存 但才六寸
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存

一 文之部 記中 才三才字 才一字俱存
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存
字加才久ら部 屬之 才十寸字 才一字俱存
才三才字 才一字俱存 但才六寸
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存
一 文之部 記中 才三才字 才一字俱存
部加形也 境也し者をの記里俱存俱存

昔中草書は借るせよ早也草書は作る事
博聞録に草書之視杜祈公也是秦始也
臣下は多く中草書は好む草書は作らば是臣下
草書の事也
二流あり一之れ又二ヤツ付し
之は名中草書之二流あり一之れ又二ヤツ付し
物なり一程遊獄中ヤツ付し
是ら草書也
二尚書者好清遠古文之流は
録之方多し
三之れを流用する程遊獄中ヤツ付し
はる程遊獄中ヤツ付し
三之れを流用する程遊獄中ヤツ付し

録字一
一之れ別書書也
是流也付し一也
有以一也
字なる多し
大觀者大徳大也
唐録に尺名曰
横秋未見也
らふ付し
有ふ中
也
居
今
十
大

諸一四二國通力大貴父の子也

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

110X
96
1